

小・中学生英語力向上推進事業「小学校英語教育に係る実践研究」の概要

本事業は、平成29・30年度にわたり、新学習指導要領が目指す小学校における外国語（英語）教育の在り方について実践研究したものです。事業の概要は以下のとおりです。

1 事業の趣旨

学習指導要領の改訂に伴い、小学校中学年から外国語活動を導入し、「聞くこと」、「話すこと」を中心とした活動を通じて外国語に慣れ親しみ外国語学習への動機付けを高めた上で、高学年からの発達の段階に応じて段階的に文字を「読むこと」、「書くこと」を加えて総合的・系統的に扱う外国語科の学習を行うとともに、中学校への接続を図ることを重視することが示されました。

このことを踏まえ、新学習指導要領の先行実施に向けて、小学校における英語教育に係る体制整備を図るよう、研究実践校（小学校）による新学習指導要領に沿った授業づくりやカリキュラム作成等に係る実践研究を行いました。

2 事業内容【平成29・30年度】

(1) 概要

県内6小学校（各教育事務所管内1校）を研究実践校とし、以下について研究しました。

- ア 中学年の活動型、高学年の教科型の授業づくり
- イ 学校体制及び小中連携の在り方についての体制整備
- ウ 地区内小・中学校教員を対象とした公開研究発表会の実施

(2) 具体的な取組

① 研究実践校による実践研究及び公開研究発表会

【平成29年度】

○中核教員等による校内研修（外国語活動の授業及び研究協議）を実施

ア 中核教員等による外国語活動の授業公開

※英語教育推進リーダー又は中核教員研修を受講した教員等

イ 先行実施（平成30、31年度）に向けた、校内検討委員会等による指導体制の整備

【平成30年度】

○中学年の外国語活動、高学年の外国語科の授業を実施

ア 外国語活動、外国語科の授業実施

イ 新学習指導要領の全面実施に向けた指導体制の整備

② 連絡協議会

○実践校同士の計画・実践等の情報共有、外部講師による講義を実施

③ 先進校視察（平成29・30年度）

○小学校英語教育の早期化・教科化に先進的に取り組んでいる小学校を視察

4 成果と課題

(1) 成果

- ・新学習指導要領による外国語活動・外国語科の先行実施に向けて、6 研究実践校が学校全体でカリキュラム・マネジメントに取り組み、指導体制を整備することができた。
- ・先進校視察を2年間にわたり実施したことにより、よりよい授業づくりの在り方について研究を深めることができた。
- ・各地区で行われた公開研究発表会に小・中・高等学校の教員が参加したことにより、新学習指導要領に基づく外国語教育において一貫した目標を実現するための「指導内容」や「指導方法」の共有を図ることができた。

(2) 課題

- ・小学校教員が外国語活動及び外国語科の授業を実践していく上で必要となる指導力・英語力を向上させることができるよう、各校中核教員を活用した校内研修の実施を働きかけることが重要である。
→平成31年度青森県英語教育連携推進事業において、小学校への支援訪問を実施
- ・平成27～30年度に英語教育推進リーダー中央研修受講者を講師とする中核教員研修受講者の英語力・指導力をさらに向上させ、各校における外国語教育の中心として活躍できる人財として育成する必要がある。
→平成31年度青森県英語教育連携推進事業において、小学校教員の英語力・指導力向上支援プログラムを実施

5 紙面構成等について

本報告書は、各校の取組について、

- 平成30年度事業実施報告書
- 平成30年度公開授業研究発表会研究概要説明資料
- 平成30年度公開研究発表会学習指導案
- 平成30年度外国語活動・外国語科 年間指導計画

で構成されています。

なお、報告書及び年間指導計画等は下記URLからダウンロード可能です。

<http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/sassi.html>